



# 報道資料



平成 24 年 10 月 29 日

各 位

会社名 株式会社 中 電 工  
代表者名 代表取締役社長 神出 亨  
(コード番号 1941 東証第 1 部)  
問合せ先 取締役兼執行役員  
                  経理部長 四方田 茂  
(TEL . 082 - 291 - 7415)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 24 年 4 月 27 日に公表しました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

記

### 業績予想の修正について

#### 1. 連結業績

平成 25 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想数値の修正 (平成 24 年 4 月 1 日 ~ 平成 24 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 ( A )	51,000	700	600	500	8.51
今回修正予想 ( B )	48,360	10	1,370	190	3.23
増 減 額 ( B - A )	2,640	690	770	690	-
増 減 率 ( % )	5.2	-	128.3	-	-
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 3 月期第 2 四半期)	45,523	2,291	1,516	3,053	51.97

平成 25 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 24 年 4 月 1 日 ~ 平成 25 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 ( A )	118,000	1,100	3,100	2,100	35.74
今回修正予想 ( B )	119,000	2,100	4,200	1,900	32.34
増 減 額 ( B - A )	1,000	1,000	1,100	200	-
増 減 率 ( % )	0.8	90.9	35.5	9.5	-
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 3 月期)	110,332	150	1,859	3,121	53.13

## 2. 個別業績

平成 25 年 3 月期第 2 四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	47,000	400	1,500	1,500	25.53
今回修正予想（B）	44,550	150	2,330	790	13.45
増減額（B - A）	2,450	550	830	710	-
増減率（%）	5.2	-	55.3	47.3	-
（ご参考）前期第 2 四半期実績 （平成 24 年 3 月期第 2 四半期）	41,462	2,084	1,259	2,877	48.98

平成 25 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	108,000	1,200	4,000	2,900	49.36
今回修正予想（B）	109,000	2,100	5,000	2,800	47.65
増減額（B - A）	1,000	900	1,000	100	-
増減率（%）	0.9	75.0	25.0	3.4	-
（ご参考）前期実績 （平成 24 年 3 月期）	100,232	94	1,968	2,853	48.57

## 3. 修正の理由

### （1）第 2 四半期累計期間の連結業績予想の修正理由

売上高につきましては、屋内電気工事と空調・管工事の完成予定工事の一部が工期延長となったことなどにより、前回発表値を下回る見込みであります。

営業利益、経常利益につきましては、原価低減の徹底など工事採算性の向上に加え、販売費及び一般管理費が若干減少したことにより、前回発表値を上回る見込みであります。

また、四半期純利益につきましては、経常利益が前回発表値を上回る見込みとなったものの、投資有価証券の評価損 1,265 百万円を特別損失に計上したこともあり、前回発表値を下回る見込みであります。

### （2）第 2 四半期累計期間の個別業績予想の修正理由

第 2 四半期累計期間の連結業績予想の修正理由と同様の理由によるものです。

### （3）通期の連結業績予想の修正理由

通期の売上高につきましては、再生可能エネルギー関連工事を含む一般工事の受注確保・拡大に向けた営業活動の推進により、前回発表値を上回る見込みであります。

営業利益、経常利益につきましては、売上高の増加に加えて工事採算性の向上に向けた原価低減の更なる徹底などにより、前回発表値を上回る見込みであります。

当期純利益につきましては、第 2 四半期累計期間において投資有価証券評価損を特別損失に計上したこともあり、前回発表値を下回る見込みであります。

### （4）通期の個別業績予想の修正理由

通期の連結業績予想の修正理由と同様の理由によるものです。

以上

#### （業績予想に関する注意事項）

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により、実際の業績は異なる結果となることがあります。